第4回 企業・大学防災セミナー

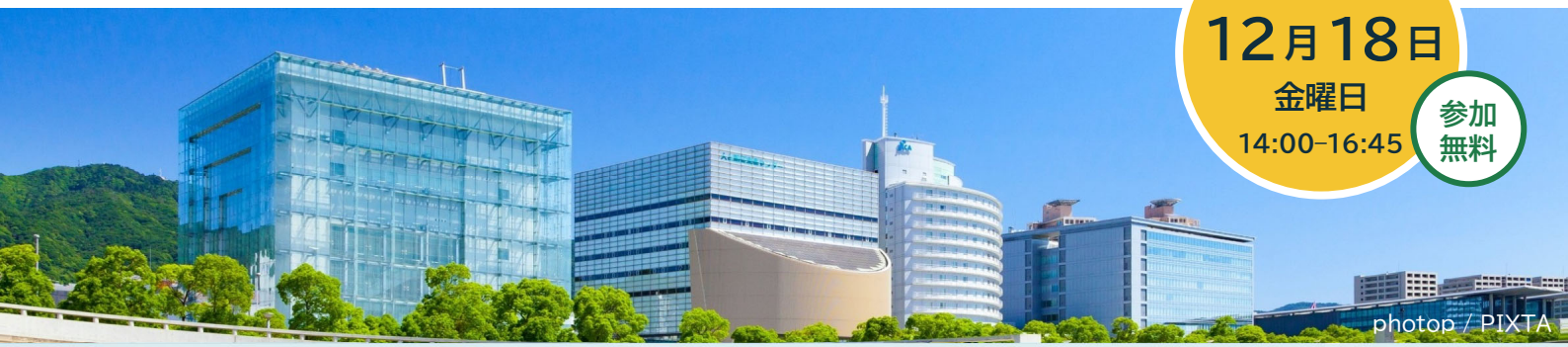
企業と医療に学ぶ、地域防災の備え

― 産官学民、それぞれの視点から連携を考える ―

社会の安全を守るには、暮らし・医療・物流など地域の機能を、組織の枠を超えて支え合うことが欠かせません。
BCP（事業継続計画）が企業の事業を守る備えであるのに対し、**DCM（地域継続マネジメント）**は産・官・学・民、各組織の備えを地域の継続へとつなぐ考え方です。震災31年の神戸で、その連携のかたちを探ります。

2026年
12月18日
金曜日
14:00–16:45

参加無料


photop / PIXTA

会場 国際健康開発センター 9階（IHDセンター）932・933国際会議室
神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-1（HAT神戸・兵庫県立美術館西隣） 阪神岩屋駅 徒歩約10分／JR灘駅 徒歩約13分

開場 13:30


一般財団法人神戸観光局

第1部 講演 14:00–15:30

開会挨拶 神戸大学 理事・副学長・地域連携推進本部長 玉岡 雅之

基調講演

株式会社神戸製鋼所 理事 安全・環境部長 泥 俊和
「KOBELCOグループの防災の取り組み」

特別講演

地方独立行政法人神戸市民病院機構
神戸市立医療センター西市民病院 院長 中村 一郎
「阪神・淡路大震災を経験した当院の災害医療への取り組み」

社員教育と防災・減災｜講演

双日株式会社 関西支社長補佐 中安 一仁
双日ライフワン株式会社 課長代理 岡田 裕央
「社員の防災意識向上の取り組み（防災展示室・災害初動マニュアル）」

災害時物流の備え｜講演

宮野医療器株式会社 代表取締役社長 宮野 哲
「医療機器流通におけるBCPへの取り組み」

第2部 パネルディスカッション 15:40–16:45

パネリスト 第1部の講演者
株式会社神戸製鋼所
神戸市立医療センター西市民病院
双日株式会社
宮野医療器株式会社

コメンテーター
神戸新聞 論説副委員長 長沼 隆之
ひょうご震災記念21世紀研究機構 主任研究員 青田 良介
（兼）兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 特任教授
脇の浜防災福祉コミュニティ 平野 浩二

コーディネーター
神戸大学 地域連携推進本部 特命准教授 山地 久美子

まとめ 人と防災未来センター 事業部長 島田 三津起
閉会挨拶 大学都市神戸産官学プラットフォーム 事務局長 西端 千恵

司会 神戸大学 地域連携推進本部 特命教授 松下 正和

要事前申込 定員 70人 締切 12月16日（水）まで
対象：関心のある方どなたでも（企業・行政・学生・市民など）
二次元コード、またはEメールでお申し込みください。
URL：https://forms.gle/VPdKaqEM7kXdg2fQ8
※Eメールの場合：お名前・ご所属・当日の連絡先などを明記

問合せ 大学都市神戸産官学プラットフォーム
TEL 078-954-6921
神戸大学地域連携推進本部
ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

主催 一般社団法人 大学都市神戸産官学プラットフォーム ／ 神戸大学地域連携推進本部
採択プロジェクト「企業、行政、大学、住民が共につくる地域防災」
神戸大学（リーダー）、兵庫県立大学、神戸市看護大学、甲南大学、神戸松蔭大学、神戸学院大学、神戸常盤大学、関西国際大学、双日株式会社、大和リース株式会社

共催 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 第13回 災害伝承“語り継ぎ”探求サロン